匠の街春日部かわら版

発行　㈱コーワ
編集　共栄大学発ベンチャー
㈲かいしゃごっこ
編集長　田島晴香

「春日部匠の輪」-43- 小淵山観音院　尾花 樹芳 様

今回は、小淵山観音院(こぶちざんかんのんいん)の住職・尾花樹芳さんにお話を伺ってきました。尾花住職は、先代から跡を継いで3年目の29代目住職です。

小淵山観音院(こぶちざんかんのんいん)は春日部市内唯一の修験寺院で、鎌倉時代に建設され、増築・改築を繰り返し今の形になっています。ご本尊は正観音です。他にもお賓頭盧様(びんずるさま)を祭っています。俗に「いぼとり観音」とも呼ばれており、昔から自分の身体の悪いところと、お賓頭盧様(びんずるさま)の同じところを交互に撫でると、治ると言い伝えられている御利益のある仏像です。お立ち寄りの際は、ぜひ撫でてみては、いかがでしょうか。

小淵山観音院(こぶちざんかんのんいん)は、松尾芭蕉が宿泊したともいわれ、境内には「ものいへば　唇寒し　秋の風」の句碑があります。その他にも松尾芭蕉と逗留中の円空が出会っていたかもしれないという伝説でも有名です。

小淵山観音院
29代目住職　尾花 樹芳氏

おびんずる様
(別名:いぼとり観音)

今年のGWには、8年間途絶えていたという円空仏祭を行い、3日間で約3千人の参拝客が訪れたそうです。県立歴史と民俗の博物館に寄託されている円空仏7体が、小淵山観音院(こぶちざんかんのんいん)で行われる円空仏祭に合わせて、本堂で公開されました。

31日の夜から元日にかけては、護摩行(ごまぎょう)を行います。護摩行(ごまぎょう)とは、組み上げられた木の壇に火を焚き、その炎の前で願いを捧げたり、真言を唱えたりすることで罪障・煩悩を炎と一緒に焼き尽くすと言われています。

大晦日の午前0時から三が日まで初詣の皆さまをお待ちしております。飲食も含めた出店を予定していますので、ぜひ今年の大晦日は小淵山観音院を訪れてみては、いかがでしょうか。

本日は、貴重なお話をありがとうございました。

詳しくは、尾花住職からの説明をQR動画にしてありますので、ご覧ください。

(㈲かいしゃごっこ　有美)

松尾芭蕉の句碑

「歴史を歩く」第三十八話　本居宣長の鈴屋

国学は儒教や仏典の研究を中心とする学問傾向を批判することから生まれ、古事記や万葉集などの古典研究により日本古来の思想及び文化を明らかにしようとした学問である。

江戸時代中期から後期にかけてさかんになり、僧契沖、荷田春満、賀茂真淵と受け継がれ、本居宣長(一七三〇―一八〇一)によって大成された。宣長は伊勢松坂の木綿商家の出で、医業を営むかたわら賀茂真淵に師事して万葉集を学び、さらに古事記の研究を始め、三五年の年月をかけて六九才の時にその注釈書である「古事記伝」四四巻を完成させた。また、源氏物語など日本古典の研究に取り組み、多くの門人を養成した。鈴屋(すずのや)とは、宣長が宝暦八年(一七五八)に自宅二階の書斎で開いた私塾の名称である。その由来は宣長が鈴の音色を好み、床の間の柱に鈴を吊り下げていたことからきている。鈴屋のある家屋は宣長が十二才から七二才まで過ごした家であり、明治四二年(一九〇九)に保存のために旧松坂町内から松坂城内に移築され、昭和二八年(一九五三)には国の特別史跡に指定されて現存している。

本居宣長自画像

家塾鈴屋の始まりは、宣長が門人を集めて塾を開いたのではなく、宣長の講義を聞くために有志が集まるうちに自然と塾としての体裁が整えられたものであった。そのため、堅苦しい雰囲気はなく、通いやすさから次第に門人が増え、宣長死去の時には門人数は四八七名に達していた。その職業は町人が約三四%、農民が約二三%であったという。入塾者の遵守する主な規則は、①神を敬い法を守ること、②変わった身なりや常識はずれの言動は控えること、③門人同士で争わないこと、となっていた。当時の塾では、門人同士が集まって書物を読み合い質疑応答を行う「会読」が学びの方法として普及していたが、鈴屋では宣長の講義が主体であった。これは宣長が講義こそ最も効果的な学習方法と確信していたからといわれている。

本居宣長旧宅

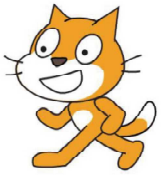
現在、松坂城内に残る「本居宣長旧宅」は一階内部は見学できるが、二階の鈴屋は保存のため家屋内部からは見ることが出来ず、外の石垣上から見学するようになっている。旧宅に隣接した「本居宣長記念館」には、宣長の自筆原稿や遺品、自画像などが公開されている。

【筆者紹介】
内藤徹雄。共栄大学名誉教授(元副学長)、全国歴史研究会会員、専門は国際経済、国際金融。中学時代より「趣味は歴史」を貫き、現在も歴史探訪を続ける。

第5回キッズICTスクール
好評の11月のスクール
Scratch Day in Kasukabe
●選べる授業内容
Scratch Day in Kasukabe・マインクラフト！
①プログラミングの3時間
プロが使うデザインソフトを学ぶ！
②Tシャツデザイン
みんなよろこぶ！
③プレゼントグッズ作成
11/28(土)
午後1時～4時
会場　共栄大学岡野記念館3F ITビジネス実践室
参加費　授業料・教材費は無料！

参加申し込み
①保護者氏名と連絡先
②参加小学生氏名と学年
③小学校名
④希望授業内容
以上を記入し下記のメールアドレスに送信してください。
connect@kaishagokko.com
QRコードからもお申込みいただけます。

Let's try



春日部食道楽⑳ お好み焼き　てまり

今月は、東武野田線八木崎駅から徒歩5分の招き猫像が目印のお店「てまり」にお邪魔してきました。かわら版初のお好み焼き屋さんです。

創業23年、店内は黒基調の落ち着いたお洒落な雰囲気のお店です。入ってすぐ右手にカウンター席があり、おひとり様歓迎とのことです。テーブル席はお座敷と掘りごたつの2パターンあります。掘りごたつは、足元も広く、ゆったりとくつろげます。

お好み焼き16種、もんじゃ19種、ラーメンやそば・うどん、季節限定メニューなどお食事の種類も豊富。迷ってしまうほどです。今回は、お店の方のおすすめメニュー明太子・餅・チーズもんじゃ、てまりもんじゃ、てまり焼の3種類をいただきました。

まず初めに「てまりもんじゃ」をお店の方に作っていただきました。実は筆者の私、人生初もんじゃでした。「てまりもんじゃ」と「てまり焼」は、牛肉と豚肉、さらにいかとえびも入っていてとても贅沢な気分になれます。プロの技でもんじゃとお好み焼きを作っていただきました。もんじゃはなにもつけなくてもしっかり味がついており、カリカリにしても良し、しっとり仕上げてもおいしいです。

お好み焼きはふわふわで見た目もきれい。こんなお好み焼きは初めて食べました。そして私も、もんじゃ初挑戦してみました。緊張しましたが、作り方もわかりやすくなっていますので安心です。モダン焼やイタリアンなピザ風(イタリアンふあっと)など、種類も焼き方もさまざまです。プロの技と私の初もんじゃに挑戦した動画をまとめましたので、ぜひご覧ください。

実は今回お店の入り口にある招き猫「てまり猫ちゃん」が入院中とのことで、残念ながら一緒に写真を撮ることができませんでした。てまり猫ちゃんの近況やお店のお得な情報はお店のHPやブログで見ることができます。

皆さまぜひ、お出かけください。

(有)かいしゃごっこ　瑞貴)

お好み焼き・もんじゃ　てまり

春日部市粕壁5144-1　☎048-752-6014

営業時間

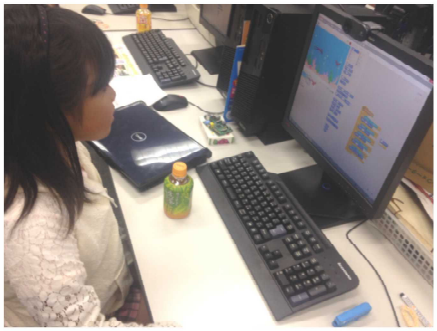
【平日&祝日】11：30～15：00/18：00～22：00

【日曜のみ】18:00～22:00

【定休日】月曜

第3回キッズICTスクールレポート

今月は、共栄大学発ベンチャー(有)かいしゃごっこと海老原研究室が開催した「キッズICTスクール」が、前回に引き続き第3回も無事終了しました。午後1時～午後4時の3時間で、ルームバンド作り、缶バッジ作り、寿司打ち(タイピングゲーム)、そしてscratchとマインクラフトを楽しんで学びました。今回が初参加ということで、scratchからゆっくりパソコンに慣れていく予定でしたが、どんどん吸収しscratchでロールプレイングゲームを作る前身まで完成させていました。「あ～なんでこれで動かないんだろう。」「ちょっとここを変えてみよう。」と自分でどんどん考えていく姿はとても初めてには見えませんでした。自宅ではiPadでゲームはするもののパソコンはほとんど触らないと教えてくれましたが、帰ったらダウンロードしてやってみると言ってもらえました。マウス操作に慣れてscratchを思い通りに動かせるようになったところで、寿司打ち(タイピングゲーム)に入ります。時間制限ありでキーボードを打つのに緊張していたためか苦戦していましたが、何回も挑戦していくうちにどんどん記録が伸びていきました。保護者の方と勝負をしたところ「抜かされるのは時間の問題かも…。」と驚いていました。タッチタイピング(キーボードを見ないで打つ)ができるようになることを目指して手元を隠しながら練習しました。クラブ活動などでなかなか時間が合わないようですが、続けて来られなくても大丈夫です。時間が合うときにぜひお越しください。第4回キッズICTスクールをは11月3日(火)に行われました共栄大学の学園祭、「樹麗祭」で開催いたしました。第5回は11月28日(土)です。お待ちしております。



【第5回キッズICTスクール】
11月28日(土)
午後1時～午後4時
詳細は本紙表面をご覧ください。

ICT活用最前線⑦ QR動画配信

昨今のスマートフォンの普及は、目覚ましいものがあります。家庭にパソコンやノートPCが減りキーボードに触れる機会が少なくなった結果、大学生就職の際、再研修として、キーボード入力練習を行う企業があると聞きます。

ホームページ閲覧をする際も、PCではなくスマートフォンが多く、若者のスマホ利用は特に顕著です。中学生や高校生は、動画配信サイトの利用がTOPです。

企業のホームページ作成には、QRコードを入り口とする動画配信が多くなり、本紙でもQRをつけるようになりました。紙面を増やすことなくたくさんの情報を皆様にお届けすることができるQRコードからの動画配信、本紙と匠の街日光かわら版にて紹介したものをご覧ください。

皆様のバッグやポケットのスマートフォンのQRアプリからの効果的な広報手段。活用法は無限です。

※次回は、本紙編集室(共栄大学発ベンチャー有限会社かいしゃごっこ)が制作している都内専門学校や大学のQR活用動画配信をご紹介します。